

第七期神田川上流懇談会

活動報告

人・生きものが集り、
地域に活かした川をめぐる

令和 5 年 3 月

神田川上流懇談会

目 次

1. 神田川上流懇談会の概要	1
2. 神田川上流懇談会規約（第七期）	2
3. 第七期神田川上流懇談会委員名簿	4
4. 第七期神田川上流懇談会活動の経緯	5
5. 第七期神田川上流懇談会活動内容	6
第 7 期第 1 回神田川上流懇談会	6
第 7 期第 2 回神田川上流懇談会	8
第 7 期第 3 回神田川上流懇談会	11
第 7 期第 4 回神田川上流懇談会	12
第 7 期第 5 回神田川上流懇談会	14
第 7 期第 6 回神田川上流懇談会	16
第 7 期第 7 回神田川上流懇談会	18
－ 参考資料 －	
神田川上流懇談会ニュース第四十四号（第七期第一号）	22
神田川上流懇談会ニュース第四十五号（第七期第二号）	24
神田川上流懇談会ニュース第四十六号（第七期第三号）	26
神田川上流懇談会ニュース第四十七号（第七期第四号）	27
神田川上流懇談会ニュース第四十八号（第七期第五号）	28
神田川上流懇談会ニュース第四十九号（第七期第六号）	30
神田川上流懇談会ニュース第五十号（第七期第七号）	32

1 神田川上流懇談会の概要

神田川、善福寺川、妙正寺川を地域に活かした親しめる川とするためには、都民と行政が共通認識に基づき、協働・連携して川づくりを進めていく必要があります。

そこで、流域の住民、河川に関心を持ち活動している団体、区市及び都が、河川に係わる情報や意見の交換・提案を行うことを目的として、神田川上流懇談会（以下、「懇談会」という）を設置しました。

「神田川上流懇談会」は平成 16 年 2 月 18 日に設置されました。

対象河川

神田川上流懇談会では、神田川、善福寺川及び妙正寺川を対象河川としていますが、神田川の江戸川橋（文京区関口一丁目地先）から上流を対象区間としています。

表 神田川一覧

	河川名	延長 (Km)	起 点	終 点
一級河川（荒川水系）	神田川	24.6	井の頭池	隅田川への合流
	善福寺川	10.5	善福寺池	神田川への合流
	妙正寺川	9.7	妙正寺池	神田川への合流

神田川流域図



活動実績

第1期 平成 16 年 2 月 18 日～平成 18 年 11 月 9 日
第2期 平成 19 年 4 月 26 日～平成 21 年 7 月 24 日
第3期 平成 22 年 2 月 18 日～平成 24 年 7 月 5 日
第4期 平成 25 年 1 月 31 日～平成 26 年 11 月 7 日

第5期 平成 27 年 3 月 9 日～平成 28 年 11 月 9 日
第6期 平成 29 年 5 月 12 日～平成 30 年 11 月 14 日
第7期 令和元年 6 月 19 日～令和 5 年 1 月 24 日

2 神田川上流懇談会規約（第七期）

第七期神田川上流懇談会設置要綱

（設置）

第1 神田川、善福寺川、妙正寺川を安全で地域に活きた親しめる川とするためには、都民と行政が共通認識に基づき、協働・連携して川づくりを進めていくことが必要である。

そこで、流域の住民、河川に関心を持ち活動している団体、区市及び都が、河川に係わる情報や意見の交換・提案を行うことを目的として、神田川上流懇談会（以下「懇談会」という）を設置する。

（所掌事務）

第2 懇談会は、前項の目的を達成するため、次に掲げる事項を所掌する。

なお、対象区間は神田川の江戸川橋上流とする。

- （1）神田川等に関わる計画、整備、維持管理等についての情報提供、意見交換、提案
- （2）神田川等の環境、歴史・文化等に関する情報交換
- （3）流域自治体の行政のうち、神田川等に関するものの情報交換
- （4）懇談会の運営及び年間活動計画に関するものの審議
- （5）その他、懇談会が必要と認めた事項

（構成）

- 第3 懇談会は、別表（省略）に掲げる流域住民、河川に関心を持ち活動している団体の代表者及び関係行政機関の職にある者（以下「委員」という）で構成する。
- 2 流域住民並びに河川に関心を持ち活動している団体の委員は、公募等により選出する。
 - 3 委員の任期は4年とし、再任を妨げない。
 - 4 座長が特に必要と認めるときは、臨時委員を置くことができる。

（座長の職務及び代理）

- 第4 懇談会は委員の互選により座長及び副座長を置く。
- 2 座長は懇談会を代表し、会務を総理する。
 - 3 副座長は座長を補佐し、座長の事故のあるときはその職務を代理する。

（懇談会の開催）

- 第5 懇談会は原則として年2回開催し、座長が召集する。
- 2 座長は、必要があると認めたときは、臨時に懇談会を開催することができる。

（公開）

- 第6 会議は原則として委員のみで行うが、懇談会の決定により一般公開することができる。
- 2 懇談会の活動内容については、活動報告書により公表するものとする。

（運営）

- 第7 懇談会は、次の事項を遵守し運営する。
- （1）自由な発言の尊重
 - （2）特定の個人・団体の誹謗・中傷の禁止
 - （3）柔軟な発想に基づく創意工夫の尊重
 - （4）相互信頼に基づく各委員の尊重（住民、団体、流域自治体、河川管理者の役割の尊重）
 - （5）建設的な提案型の意見交換

（活動報告書）

- 第8 懇談会は、原則として1年ごとに活動内容や成果等について活動報告書にとりまとめる。
- 2 活動報告書は、建設局ホームページに掲載して一般都民に閲覧できるようにする。

（都民委員の補充）

- 第9 都民委員の欠員の補充については、懇談会において補充方法を定める。

（臨時委員）

- 第10 運営に必要な臨時委員については、座長が懇談会にはかり決定する。

（事務局）

- 第11 懇談会の事務局は東京都第三建設事務所工事第二課に置く。

（要綱の改正）

- 第12 座長は、懇談会設置要綱を改正する必要があると認めるときは、委員の総意によりこれを認める。

（その他）

- 第13 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に必要な事項は座長が別に定める。

付則

この要綱は、令和元年 6月 19日から施行する。
改定：令和3年10月 25日

第七期神田川上流懇談会運営要領

（懇談会）

- 1 懇談会は、原則として公開とする。

（運 営）

- 2 懇談会は、次に掲げる事項を遵守し運営を行う。

- （1）自由な発言の尊重
- （2）特定の個人・団体の誹謗・中傷の禁止
- （3）柔軟な発想に基づく創意工夫の尊重
- （4）相互信頼に基づく各委員の尊重
- （5）建設的な提案型の意見交換

（会議録）

- 3 懇談会の会議録（懇談会ニュース）は、原則として公開とする。
- 4 会議録は、発言委員の了解のもとに以下の要領で作成する。
 - （1）発言内容は要旨とする。

- （2）発言者は匿名とし、都民委員、行政委員、事務局に区分して記録する。

- （3）座長は、委員の発言のうち特定個人の利害に係わるなど不適切な内容については、削除することができる。

- 5 会議録は、東京都建設局河川部（都庁第2庁舎6階）、第三建設事務所、関係各区市の関係課に置き、一般都民に閲覧できるようにする。
また、建設局ホームページにも掲載する。

（都民委員の補充）

- 6 都民委員の欠員の補充については、懇談会において補充方法を定める。

（臨時委員）

- 7 運営に必要な臨時委員については、座長が懇談会に
はかり決定する。



3 第七期神田川上流懇談会委員名簿

令和5年1月24日時点

公募並びに各区からの推薦により選出された15名の都民委員と11名の行政委員により構成しています。

区分	区市名	氏名	備考
都民委員	個人：文京区		前期より継続
			前期より継続
	個人：新宿区		前期より継続
			前期より継続
	個人：中野区		第7期 新規
			前期より継続
			前期より継続
	個人：杉並区		前期より継続
			前期より継続
			第7期 新規
	個人：三鷹市		前期より継続
			前期より継続
			前期より継続
	個人：武蔵野市		第7期 新規
	団体：神田川ネットワーク		前期より継続
15名			

区分	所 属	氏名			
		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
行政委員	文京区 土木部みどり公園課長				
	新宿区 みどり土木部道路課長				
	豊島区 都市整備部道路整備課長				
	中野区 都市基盤部道路課長				
	杉並区 都市整備部土木計画課長				
	三鷹市 都市整備部緑と公園課長				
	武蔵野市 環境部緑のまち推進課長				
	東京都建設局河川部 中小河川計画担当課長				
	東京都第六建設事務所 副所長兼工事課長				
	東京都北多摩南部建設事務所 工事第二課長				
	東京都第三建設事務所 工事第二課長				
11名					

4 第七期神田川上流懇談会活動の経緯

第七期神田川上流懇談会の活動の概要は以下のとおりです。

表 第七期神田川上流懇談会の活動の概要

	開催日	開催場所	出席委員	概 要
第 1 回	令和元年 6月19日 14:30～16:40	善福寺川事業 センター	都民委員 14 名 行政委員 9 名	<ul style="list-style-type: none"> ・委員紹介 ・懇談会設置要綱の承認 ・座長・副座長の選出 ・懇談会の行動計画について ・河川事業の概要について ・都民委員・行政委員からの報告等 ・神田川・環状七号線地下調節池の見学
第 2 回	令和元年 11月20日 13:30～15:30	環状七号線地下 広域調節池 (石神井川区間) 工事現場 野方区民活動 センター	都民委員 11 名 行政委員 10 名	<ul style="list-style-type: none"> ・環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事現場見学 ・合流式下水道の改善事業について ・都民委員・行政委員からの報告等 ・台風 19 号による神田川流域の被害について ・その他（台風 19 号時の災害対応や被害の状況について）
第 3 回	令和 2 年 10月20日	書面開催	都民委員 15 名 行政委員 11 名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度 主な河川工事予定箇所について ・委員からの報告事項 ・第三回神田川上流懇談会書面開催までにお受けした質問とその回答 （1）コロナウイルスの調査 （2）令和 2 年度の水防
第 4 回	令和 3 年 2月5日	書面開催	都民委員 15 名 行政委員 11 名	<ul style="list-style-type: none"> ・委員からの報告事項 ・第四回神田川上流懇談会書面開催までにお受けした質問とその回答 ・第四回神田川上流懇談会書面開催までに作成した資料（神田川今昔フォトブック見本版）に対する意見
第 5 回	令和 3 年 9月27日	書面開催	都民委員 15 名 行政委員 11 名	<ul style="list-style-type: none"> ・第七期神田川上流懇談会設置要綱（改正案）について ・令和 3 年度 主な河川工事予定箇所について ・令和 3 年 8 月 15 日豪雨における河川状況について ・委員からの報告事項 ・第七期神田川上流懇談会（第 5 回）質問票でお受けした質問の回答(令和 3 年 10 月 25 日)
第 6 回	令和 4 年 2月28日	書面開催	都民委員 15 名 行政委員 11 名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度 河川工事の現場状況について ・委員からの報告事項 ・Web 会議の利用状況アンケート調査（都民委員のみ配布）
第 7 回	令和 5 年 1月24日 14:00～15:30	第三建設事務所 会議室(WEB 併用)	都民委員 7 名(対面) 2 名(Web) 行政委員 1 名(対面) 7 名(Web)	<ul style="list-style-type: none"> ・第七期のまとめ ・第八期設置スケジュール ・委員からの報告事項 ・三建管内で施工中の工事について

5 第七期神田川上流懇談会活動内容

第1回（令和元年6月19日）対面会議開催および施設見学会

●設置要綱の承認、座長・副座長の選出

設置要綱の説明・承認後、座長には東京都第三建設事務所工事第二課長が、副座長は都民委員から選出されました。

●懇談会の行動計画について

懇談会の行動計画について、事務局から以下の提案がありました。

- ・第七期（令和元年度～3年度）は6回の開催を予定している
- ・第1回到神田川・環状七号線地下調節池、第2回到環状七号線地下広域調節池、第3回到和田堀公園調節池、第4回到下高井戸調節池の視察を予定している
- ・委員からの要望等があれば対応していく

●河川事業の概要について

令和元年度の河川事業の概要について、第三建設事

務所から以下工事についての説明がありました。

- ・河川整備工事：神田川（その154）（その211）／善福寺川（その104・105）（その202・203）／妙正寺川（その202）（その16）
- ・調節池工事：和田堀公園調節池／下高井戸調節池／環状七号線地下広域調節池

●都民委員・行政委員からの報告等

都民委員から以下のとおり活動報告がありました。

- ・平成31年2月、神田川上流懇談会都民委員有志による神田川見学会・懇談会を実施した
- ・令和元年10月5～6日に「すぎなみエコ路地フェスタ」を開催する
- ・河川愛護月間期間中、新宿西口と井の頭公園「かわフェスタ」でパネル展示を行う



令和元年度三建主要河川工事施工予定箇所図

第七期神田川上流懇談会活動内容

●神田川・環状七号線地下調節池の見学

模型により、神田川・環状七号線地下調節池と善福寺川取水施設について、構造や機能説明をした後、機械棟の地下 43 m に下り、連絡管を 150 m 歩いて、直径

12.5 m の大トンネル、神田川・環状七号線地下調節池に到着、担当者から運用や維持管理などについて詳しい説明がありました。



第 1 回懇談会の様子



展示模型の解説



神田川・環状七号線地下調節池の見学

都民委員からのご質問やご意見等に対する事務局や行政委員の回答（一部抜粋）

都民委員の質問・意見	事務局・行政委員の回答
各委員の活動がネットワーク化して、連携した活動や勉強会などの機会も出てくると思うので、委員からの活動報告というのは非常にいいことだと思う。	行政側からの情報提供が中心だったが、委員の方々の活動を知るいい機会だと思うので、ぜひ発表していただけると有難いと考えている。
雨水の流入など下水道事業も関連してくるので、下水道施設の見学や、下水道担当者の懇談会への出席なども考えていただきたい。	意見交換をしながら作っていく懇談会だと思うので、そういうご要望があったということで対応できるようにしていきたい。
環状七号線地下広域調節池で、どこで水を川に戻すのか。南へ勾配をつけているので、白子川の水が神田川に出るということになるのか。	各取水施設でポンプ排水を行うが、勾配がついているため、最終的には白子川で取った水が神田川の方まで来ることになる。

第七期神田川上流懇談会活動内容

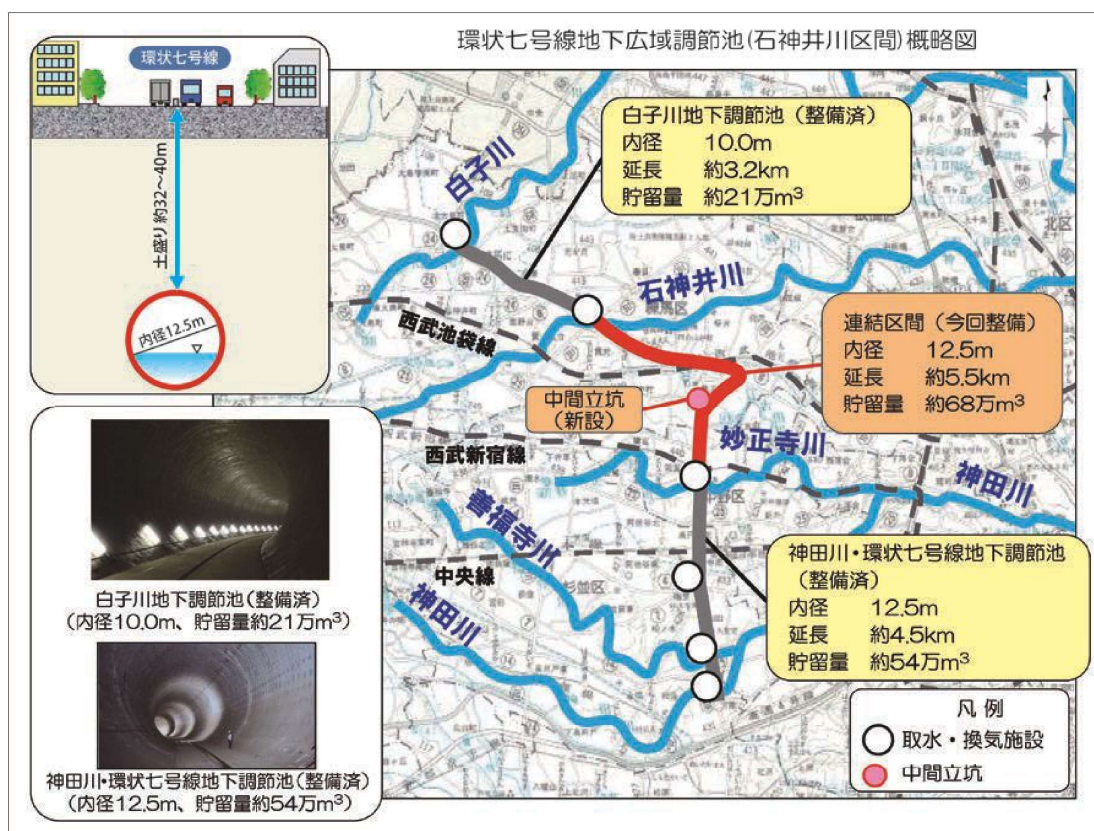
第2回（令和元年 11 月 26 日）対面会議開催および施設見学会

●環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事現場見学

工事現場（妙正寺川取水施設）脇の事務所内で、事業内容・工事概要についてのビデオ上映があり、第三建設事務所より現場見学の概要や注意点等の説明を受け、スピーカー付きヘルメットを着用して工事現場内へ移動。地上の設備や防護壁などについて説明を受けた後、シールドマシンの上部付近まで立坑の階段を降りていきました。

立坑内で、シールドマシンの重量や組立期間、今後の工事予定等の説明があり、シールドマシンは直進だけでなくカーブを描く必要があるため真ん中が折れ曲がる構造であることや、1日約9m、月約180mの掘進が想定されているなどの話がありました。

立坑掘削に用いたニューマチックケーソン工法等についての説明の後、階段とエレベーターで地上部上がり、懇談会会場である野方区民活動センターに向かいました。



環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）概略図



事務所内でビデオ上映と事前案内



ヘルメットを着用して工事現場内へ



階段を降りて立坑内部へ



シールドマシンの上部

●合流式下水道の改善事業について

下水道局から、合流式下水道の改善事業について、以下の内容の説明がありました。

- ・合流式下水道と分流式下水道、それぞれの長所と短所について
- ・合流式下水道の放流の仕組みについて
- ・合流式下水道を採用した経緯について
- ・汚水混じりの雨水の放流・越流への対策について
- ①越流前に水を貯める貯留施設の整備
- ②水再生センターでの高速濾過施設の導入
- ③雨水浸透施設の設置の推進
- ④ゴミが流れ出ないように水面制御装置を設置
- ・オリンピック開催までに 140 万 m³ 整備することが目標

●都民委員・行政委員からの報告等

事務局から以下のとおり報告がありました。

- ・第 1 回懇談会でご承認いただいた懇談会の設置要項に文言の修正があったので最終版をお渡しした
- ・前回の懇談会の議事を懇談会ニュースとしてまとめたので、内容をご確認いただき、修正等があれば 12 月中旬を目途に事務局にご連絡いただきたい

都民委員から以下のとおり活動報告がありました。

- ・2020 年 2 月 25 日から 28 日に中野区役所の入口付近で、中野区の町名の今と昔というテーマでパネル展示を行う
- ・事務局のご協力もいただき、江古田の森から江古田川を通して妙正寺川第二調節池まで歩くフィールドワークを実施した
- ・11 月 9 日に新宿区戸塚地域センターで「アユと神田川」というテーマで神田川サミットを開催した
- ・「善福寺川を里川にカエル会」というグループによるカエルシンポという催しで、10 月 26 日に

雨水をどう溜めたらいいかというワークショップを開催した

- ・年間 4 回、善福寺公園の遅野井川で子供たちと生き物調査、水質調査、流速調査を行う「川調べ」を 11 月 16 日に実施した

●その他

台風 19 号時の流域の雨量や水位について、事務局から以下のとおり報告がありました。

- ・台風 19 号でかなり的大雨が降り、神田川・環状七号線地下調節池に貯留可能な水 54 万トンのうち約 9 割を取り込んで、治水効果を発揮した
- ・新宿、中野、善福寺川相生橋の雨量観測所の雨量グラフでは、ほぼ同じように 8 時から 8 時半くらいが一つ目、13 時くらいから 15 時半くらいが二つ目、20 時から 21 時くらいが三つ目のピークになっていた
- ・1 時間最大雨量も各観測所ともほぼ同じで 37mm から 38mm くらいだった
- ・水位周知河川に指定している善福寺川の西田端橋の水位も、雨量と同様に朝・昼・夜の三つのピークがあって、夜の時間帯のピークには氾濫危険水位まであと 10cm くらいまで迫っていたが、21 時以降ほぼ雨が止んでそれ以上水位は上がらなかった

各区・各市の行政委員から、台風 19 号時の防災対応や被害状況について報告がありました。主な内容は以下のとおりです。

- ・河川の氾濫等の被害はなかったが、内水による床下・床上浸水や道路冠水、家屋の一部損壊、倒木などの被害があった
- ・土のうが不足してその対応に追われた

第七期神田川上流懇談会活動内容



第 2 回懇談会の様子

都民委員からのご質問やご意見等に対する事務局や行政委員の回答（一部抜粋）

都民委員の質問・意見	事務局・行政委員の回答
区との連携事業として浸透ますを設置するというのは、具体的にどのように事業化されているのか。	都と区が連携して、宅地内の雨水浸透ますを設置する際には助成が出るというような制度を設けて、雨水浸透が進むような取り組みを行っている区がある。
降水量は区や都の発表で把握して大体わかる状況だが、下水量は測定して全体把握ができる状況になっているのか。	水再生センターに入ってくる水の量は計測して把握できているが、川へ出てしまった量は、737箇所の吐口の全量を把握するのはかなり困難なため行っていない。
分流式に替える予定があって工事をしているのか。それとも合流式のままでいいという方針なのか。	埋設物が輻輳している道路状況や莫大な工事費用、住民の負担など、いろいろ課題も多いため、現在は合流式下水道を改善していくという方針を採っている。
雨水浸透ますの助成制度の達成率はわかっているのか。小金井市は助成を受けずにギネスブックに載るほどの設置率だ。制度の細かな仕様を見直していただきたい。	達成状況は都市整備局で把握している。予算の執行状況では、設置はそれほど進んでいないというのが実情だと思う。小金井市では、行政が設置業者と連携して対策を行っていると聞いている。そういう成功事例を広げていくことができれば、東京の水質も変わっていくのかなと考えている。
公共施設で、一時的に貯留して雨が止んでから流すというような設備があれば効果が大きいのと思うが、そのような計画やこれからの展望はどうか。	学校など公的な施設に対しては、国で補助金を出したり、建設局・下水道局・都市整備局等で協力して推進しようという取り組みは行っている。雨水が増えても下水は一定量川に入っていくから、時間が経てば希釈されてきれいになっていくという表現は誤解を招くのではないかな。
神田川・環状七号線調節池で、取水のために開けた時間と閉めた時間を知りたい。	12日土曜日の午後3時半頃から取り始めて、取り終えたのが夜11時頃。西田畑橋の水位グラフで、夜8時～9時くらいの山が終わった後、水位が下がっていったので取り終えたという状況だ。

第3回（令和2年10月20日）書面開催

●令和2年度 主な河川工事予定箇所

- ・神田川整備工事（新橋～寿橋）。本郷橋上下流の護岸工事を実施しています。
- ・神田川整備工事（方南橋上流～神泉橋下流）。宮前橋上下流の護岸整備を実施しています。
- ・善福寺川整備工事（済美橋より上流区間）。宮下橋上流から大成橋下流の護岸整備を実施しています。
- ・善福寺川整備工事（西田橋上流～西田端橋下流）。神通橋上流の護岸整備を実施しています。
- ・妙正寺川整備工事（下鷺橋～八幡橋）。丸山橋下流の護岸整備を実施しています。
- ・妙正寺川整備工事（三谷橋～新昭栄橋）。新昭栄橋下流の搬入路整備を実施しています。

- ・和田堀公園調節池事業。時間七十五ミリ対応施設として治水安全度の向上を図っていきます。
- ・下高井戸調節池事業。搬出入路整備に引き続き、調節池本体工事を実施しています
- ・環状七号線地下広域調節池事業。白子川地下調節池と神田川・環状七号線地下調節池を連結する工事を行っています。

●委員からの報告事項

団体委員（神田川ネットワーク）から、「神田川ネットワークでは毎年、「全国身近な水辺調査」に参加しています。今年も三十二か所、実施いたしましたので、情報を提供させていただきます。」と報告がありました。



神田川・環状七号線地下調節池の見学

第3回神田川上流懇談会書面開催までにお受けした質問とその回答

都民委員の質問・意見	事務局・行政委員の回答
降雨時に合流式下水道を介してコロナウイルスが河川に流入する可能性はあるか。	東京都下水道局では「下水中の新型コロナウイルスの分析に向けた対応について」にてサンプルを採取し学会と協働して調査していく取り組みを行う旨、HPに掲載しています。東京都建設局としては、流入しているかどうかまでの確認は行っておりません。なお、以前に他県の下水中に新型コロナウイルスが検出されたこととニュースで取り上げられたことと記憶しています。
河川でコロナウイルス検出調査をしているか。	建設局では調査をしておりません。
今年度の調節池の流入実績を知りたい。	今年度、第三建設事務所では七回水防態勢をとっています。うち一回のみ調節池にて流入しております。7月23日（木）妙正寺川上高田調節池（中野区上高田5丁目）11,000 m ³ 、北江古田調節池【中野区管理】（中野区江古田3丁目）5,700 m ³ です。

第七期神田川上流懇談会活動内容

第4回（令和3年2月5日）書面開催

●委員からの報告事項

都民委員が所属している2つの団体の活動報告がありました。

①遅野井川かっぱの会

「遅野井川かっぱの会」は、都立善福寺公園内を流れる遅野井川（正式名 遅野井川親水施設）の生き物や水の流れを守る集まりで川の管理運営する協定を杉並区と結んでいる任意団体です。児童参加の川調査「川しらべ」を年4回、「かっぱかべしんぶん」を公園内の掲示板に隔月で掲載しています。

②善福寺川を里川にカエル会

「善福寺川を里川にカエル会」は、善福寺川が地域から愛される、多様な生物（人間も含む）が住める川（里川）にかえるためのさまざまな取り組みをしている市民団体です。

毎月定例会議を開催しているほか、遅野井川浸水施設（都立善福寺公園）で行われたイベント「水辺で乾杯 2020（ミズベリング）」の運営や、善福寺川緑地公園で行われたパネル展示や善福寺川流域さんぽ（お散歩の会とコラボ）への参加、オンラインで行われた「グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会」への参加など幅広く活動しています。

第4回神田川上流懇談会書面開催までにお受けした質問とその回答

都民委員の質問・意見	事務局・行政委員の回答
2020年10月に調布市で発生した市道陥没と東京外環道の大深度トンネル工事との因果関係を東日本高速道路が認めました。大深度利用は外環道に限らず、東京都でも様々な事業が行われており、東京都として大深度利用現場の上部地層、地上部での安全性をどのように確認していく予定ですか。	大深度で行う工事としては、環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事があげられます。地上への安全性の確認としては、一定の間隔で道路高さを計測し、沈下等の確認を行う予定です。また、工事の影響を受ける可能性がある範囲の家屋を対象に、事前に工事の説明会を開催するとともに、希望者に家屋調査を行います。

第四回神田川上流懇談会書面開催までにお受けした「神田川今昔フォトブック」への意見

都民委員・行政委員の意見	事務局の回答
タイトルを『神田川の橋 今と昔』とし、表紙の写真は「大正時代の水門橋」と「聖橋」の2点を採用したらどうか。	タイトルについては、神田川を対象としたフォトブックであるため、橋に限定される表現は適切でないと考えています。
表紙に「神田川上流懇談会」と著作権者（作者）を掲載したらどうか。	連絡先も含め裏面に掲載されているため不要と考えています。
掲載する写真については、「水門橋」「佃橋」「池袋橋」「寿橋」「栄橋」「新橋」「花見橋」「淀橋」「神高橋」「小滝橋」「面影橋」「お茶ノ水橋」の12橋ではどうか。	写真が粗いこと、川の様子がわからないもの等、利用が難しい写真以外で、採用可能なものを選出しています。
できるだけ橋の由来や撮影当時の様子などをコメントに加えたらどうか。	コメントを加える場合は、すべての箇所に行う必要があると考えており、このため、今回の限られた製作時間内ではコメントを加えることは難しいと判断しています。

第七期神田川上流懇談会活動内容

都民委員・行政委員の意見	事務局の回答
神田川上流懇談会では神田川、善福寺川、妙正寺川、江古田川が対象河川だが、桃園川緑道を「昔」の河川の記憶として加えてはどうか。都市化近代化の過程で河川を下水道に転用した事実も神田川の履歴の一部として紹介したい。	桃園川の古い写真が現在ないこと、また神田川を対象としたフォトブックであるため、今回の製作期間内での対応は困難です。また、行政委員からのご意見も踏まえ、今後のフォトブックのあり方については、委員の意向を確認しながら必要に応じて進めてまいります。
2020年2月に中野区役所で開催された「中野区パネル展」のなかで『神田川の今と昔を歩く』が分かりやすかったので、この要素を本冊子に取り入れたらどうか。	対応できるところについて、対応します。
冊子サイズは、持ち運びに便利なハンディタイプが望ましく、見本のサイズは、適正だと思う。	A5サイズで製作します。
神田川の概要をもう少し書き加えたらどうか。	神田川流域図のページに書き加えます。
写真撮影のポイントを起点から〇〇km地点と表記したらどうか。(行政委員)	起点から延長を落とした正確な資料が現状ないため、今回の冊子では対応しませんでした。今後委員の意向を確認しながら必要に応じ対応していきます。
散策時の注意事項として、交通マナー等を書き加えたらどうか。(行政委員)	今回の冊子では考えていませんが、今後委員の意向を確認しながら必要に応じて対応していきます。
全体的に「たまりバー 50キロ」等のようなイメージにしたら、利用者が親しみやすいと思う。(行政委員)	今回は写真をメインとした冊子としています。どこまで対応できるのかも含め、今後委員の意向を確認しながら必要に応じて対応していきます。



第七期神田川上流懇談会活動内容

第5回（令和3年9月27日）書面開催

●事務局からの報告事項

任期の延長について、委員の過半数の同意をいただき、第七期における委員の任期を3年から4年に1年間延長しました。任期延長に伴い、設置要綱の第3（構成）の3を改定します。

●令和3年度 主な河川工事予定箇所

- ・神田川整備工事（新橋～寿橋）。平成十九年度から護岸工事に着手し、令和三年度は本郷橋上流の護岸工事を実施しています。
- ・神田川整備工事（方南橋上流～神泉橋下流）。令和三年度は、引き続き宮前橋の架替を含む宮前橋上下流の護岸工事を実施しており、今後、栄泉橋上流までの管理用通路整備に着手する予定です。
- ・善福寺川整備工事（済美橋より上流区間）。令和三年度は、宮下橋上流から大成橋下流の護岸整備を実施しています。
- ・善福寺川整備工事（西田橋上流～西田端橋下流）。令和三年度は、神通橋上下流の護岸整備を実施しています。
- ・妙正寺川整備工事（下鷲橋～八幡橋）。令和三年度は、丸山橋の架替を含む丸山橋上流の護岸整

備を実施しています。また、八幡橋下流の護岸工事に着手する予定です。

- ・妙正寺川整備工事（三谷橋～新昭栄橋）。令和三年度は、新昭栄橋下流の搬入路整備を実施しています。
- ・和田堀公園調節池事業。公園計画に合わせて、和田堀第二・第三調節池を統合・拡張しました。令和三年八月末現在は、調節池工事、護岸工事を施工しており、橋梁工事は完了しました。
- ・下高井戸調節池事業。都市計画下高井戸公園内に地下調節池を整備しています。令和三年度は、引き続き調節池本体工事を実施しています。本体工事完了後は、付随する機械設備等の工事を行い、令和六年度末に取水開始を予定しています。
- ・環状七号線地下広域調節池事業。白子川地下調節池と神田川・環状七号線地下調節池を連結する工事を行っています。令和三年度は、トンネル内の維持管理（清掃作業など）を効率的に行うため、換気設備を設置する必要があり、梅里換気塔および神田取水施設の換気設備工事に着手していきます。



●委員からの報告事項

■行政委員からの報告

第三建設事務所管内では、総雨量で 270 ミリメートルを超える降雨を記録しましたが、その降雨は神田川及び善福寺川流域が中心でした。

その結果、善福寺川の西田端橋水位観測所においては、15 日の午前五時五十五分頃に、護岸天端まで 48 センチメートルというところまで河川水位が上昇しました。しかし、降雨が弱まったこともあり、その後河川水位は低下しました。

また今回の降雨では、神田川・環状七号線地下調節池と上高田調節池で洪水の取水を行いました。

■都民委員からの報告

都民委員が所属している団体（神田川ネットワーク）の活動報告がありました。

- ・ 2008 年に出版した「神田川再発見」の再編作業に取り組んでいます。神田川をはじめ、善福寺川、妙正寺川、江古田川、・・・日本橋川・亀島川、暗渠になった井草川、桃園川等も再踏査していきます。
- ・ 第 18 回身近な水環境の全国一斉調査に参加し、32 地点の検査を行いました。
- ・ 「水都東京・未来会議」に参加し、首都東京の水辺再編に向けて、学識経験者、事業者、市民が連携して活動を行っています。9 月 5 日、ミニ天馬船プロジェクト 2021 が実施した、聖橋から万世橋までをミニ天馬船を走らせて競争する「ミニ天馬船タイムトライアル」に参加しました。
- ・ 井の頭自然再生協議会に参加しました。
- ・ 流域で活動している河川の市民団体と情報を共有しながら活動しました。

第七期神田川上流懇談会（第 5 回）質問票でお受けした質問の回答

都民委員の質問・意見	事務局・行政委員の回答
<p>当時河川の増水状況をサイレンで知らせていました。ネットでライブカメラを見て大変参考になりましたが区管轄のカメラは写真で臨場感が全く感じられませんでした。</p> <p>都の補助でリアルタイムのムービーにして頂けるとうれしいですね。</p> <p>リアルタイム情報だと状況判断が正確で避難などの対応がスムーズに行えるのでは無いかと思われました。</p>	<p>引き続き都と区とが連携して、都民にわかりやすい情報の提供に努めていきます。</p> <p>なお、東京都水防災総合情報システム（HP）では、第三建設事務所管内の 6 箇所（南小滝橋・和田見橋・番屋橋・西田端橋・千歳橋・鷺盛橋）のライブカメラ映像の公開をしています。今後更にカメラの設置、公開していくことを検討しています。</p>
<p>神田川・環状七号線地下調節池では 8 月 15 日に約 20 万 m³ の取水を行い、その量は調節池容量の約 38% ということでしたが、こうした状況は数値どおりまだかなり余裕があったと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>神田川・環状七号線地下調節池の容量は 54 万 m³ です。数字だけを見た場合は、ご質問のとおりまだかなり余裕があったという事になります。</p> <p>しかし、雨の降り方は、そのエリアや強度、時間など様々であり、調節池の容量に余裕があったからといって、一概に安全だとは言えない事をご理解いただければと思います。</p>
<p>（懇談会の開催）第 5・2 の適用で近々の懇談会開催を希望いたします。</p>	<p>貴重なご意見誠にありがとうございます。</p> <p>今年度二回目の神田川上流懇談会を早く開催できるように準備をいたしますので、よろしくお願いいたします。</p>

第七期神田川上流懇談会活動内容

第6回（令和4年2月28日）書面開催

●令和3年度河川工事の現場状況について

- ・神田川整備工事（その156）その2。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えています。
- ・神田川整備工事（その211）。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えています。
- ・善福寺川整備工事（その104－3）。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えています。
- ・善福寺川整備工事（その106）。令和3年度に行っている工事現場の臨場感を伝えるために Web サイトで 360°写真を公開しています。
- ・善福寺川整備工事（その205）。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えています。
- ・妙正寺川6 整備工事（その16）。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えています。
- ・妙正寺川整備工事（その202－3）その2。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えています。
- ・下高井戸調節池工事。令和3年度に行っている工事現場の臨場感を伝えるために Web サイトで 360°写真を公開しています。
- ・和田堀公園調節池工事その2。令和3年度に行っている工事の様子を写真で伝えています。
- ・環状七号線地下広域調節池工事。令和3年度に行っている工事の様子を写真で伝えています。



下高井戸調節池 360°写真



善福寺川整備工事（その106）360°写真

●委員からの報告事項

■行政委員からの報告

行政委員（建設局河川部計画課）から「神田川流域河川整備計画」の変更についての報告がありました。

○概要

都では、平成 22 年 11 月に、「神田川流域河川整備計画」を策定しました。平成 28 年 3 月に変更しましたが、今回、新規調節池の検討状況等を踏まえて、再度変更を行っていく予定です。

○今後の予定

変更に当たっては、河川法に基づく流域住民への意見聴取（パブリックコメント）を実施し、専門家委員会の開催、流域区市などへの意見照会を経て、策定・公表します。なお、神田川上流懇談会委員（都民委員）の皆様には、パブリックコメント前に「神田川流域河川整備計画」の変更に関する内容を提示させていただき、御意見をいただきたいと思います。

■都民委員からの報告

都民委員が所属している団体（善福寺川を里川にカエル会）の活動報告がありました。

- ・善福川八幡西橋付近で水質、生物などの調査を 2021 年 1 月から 2022 年 1 月までに 10 回行いました。
- ・2020 年 12 月 26～27 に中部流域連携ネットワーク（主催）のオンライン特別企画ゆく川・くる川川談義」オンラインイベントに参加しました。
- ・2021 年 1 月 10 日と 2022 年 1 月 21 日の「川ガキ復活講座」（NPO 法人すぎなみ環境ネットワーク主催）に参加しました。
- ・2021 年 3 月 5～7 日の「まちはく 2021」杉並区立産業商工会議主催にチラシ参加しました。
- ・2021 年 5 月 30 日に「川しらべ+川あるきワークショップ」を西荻地域区民センターで開催しました。
- ・2021 年 6 月 27 日に「川歩き+川あるきワークショップ」を善福寺川緑地公園で開催しました。
- ・2021 かんきょう講演会 " 守ろう、育てよう、善福寺川の自然 " 第 1 回 9 月 11 日、第 2 回 10 月 16 日に企画協力しました。
- ・2021 年 10 月 31 日、和田堀公園で開催された「善福寺川しらべ」イベント『善福寺川発見』にパネル展示の参加をしました。
- ・2021 年 12 月 18 日、「善福寺川を里川にカエル会」発足 10 周年記念シンポジウムをオンラインで開催しました。

善福寺川の調査
2021年3月20日(祝土)
13時00分～15時00分

善福寺川を美濃山橋から降り、八幡西橋付近まで川の岸を往復します。
①川辺で水質検査（バックテスト COD、pH） 湧水と川の流れる水と比較
②生き物調査（指標生物）

12:30 カフェワセミビレット前集合
13:00 美濃山橋へ移動 美濃山橋から川に降り、八幡西橋まで移動する。
八幡西橋付近の川の生物、水質などを調査する。
①水質検査：湧水と川の流れる水の COD と pH のバックテストを行う。
②生物：【指標生物】全国的に統一した生きものの数がありその場所が生息しているかを調べることで、水のきれいさの目安が分かる事。
15:00 活動終了 美濃山橋から上がる。カフェワセミビレットへ移動

善福寺川を里川にカエル会

※この取り組みは、(社)トコタ社「2020年度国内環境プログラム」の活動の一環として実施します。

発足 10 周年記念 善福寺川を里川にカエル会シンポジウム 2021

東京の善福寺川は、里川になったのか？
10th Anniv. Online!! 12月18日(土) 14:00～17:30

01. 善福寺川これまでの10年
・はじまりの物語（都民委員）
・川ガキの復活を目指して（中村第一郎）
・生まれ変わった善福寺川（佐藤健策）
・水質からみる善福寺川（佐藤健策）
・コロナ禍での活動（佐藤健策）

02. パネルディスカッション 善福寺川の10年とは何だったのか？
【登壇者】
ゲスト：中村 第一郎
【モデレーター】
佐藤健策、中村第一郎、佐藤健策、佐藤健策、佐藤健策

03. 都市の川をめぐる現在地
【登壇者】
佐藤健策、中村第一郎、佐藤健策、佐藤健策、佐藤健策

04. パネルディスカッション 善福寺川は里川になったのか？～善福寺川の次の10年に向けて～
【登壇者】 善福寺川メンバー

Zoomウェビナーによるオンライン視聴申し込みフォーム
※要領書を記入のうえ、お申し込みください。事務局よりご連絡いたします。

【主催】 善福寺川を里川にカエル会 【お問合せ】 zempukukaeru@gmail.com
※この取り組みは、(社)トコタ社「2020年度国内環境プログラム」の活動の一環として実施します。

第七期神田川上流懇談会活動内容

第7回（令和5年1月24日）「Zoom Meetings」を用いたWEBおよび対面会議開催

●第七期活動報告記録（案）について

- 令和元年6月に開催された神田川上流懇談会第七期第1回から令和4年2月に開催された第6回までの活動を取りまとめたものです。今後、第7回上流懇談会の内容を加え、第7期の神田川上流懇談会の活動記録としてとりまとめます。

●第八期設置スケジュール・委員継続意思確認書について

- 神田川上流懇談会第八期の設置スケジュールとして、新規委員募集に関して、区市報への掲載、委員選考から通知までの日程と、現委員に対して継続意思を確認する資料です。

●委員からの報告事項

- 団体委員（神田川ネットワーク）より、活動報告として、以下の内容が報告されました。（事務局が代読）
 - ①亀島川まつり 主催者「水都東京・未来会議」の一員として参加
 - ②「雨水をためる」勉強会を主催した 講師：神谷 博氏
 - ③「隅田川クリーン大作戦」に参加協力
 - ④東京都水防資料館にて講師を担当
 - ⑤すぎなみエコ路地フェスタで展示を行う 実行委員会に参加
 - ⑥「善福寺川フォーラム」都立善福寺公園下池で展示 実行委員会に参加
- 都民委員より、神田川の水質調査について神田川ネットワークを通して報告していると報告がありました。（事務局が代読）

調査区	調査河川名称	市町村名称	橋名	橋長	橋高	調査区	橋名	橋長	橋高	調査区	橋名	橋長	橋高						
				m	m			m	m			m	m						
神田川ネットワーク	神田川	三鷹市	1 井の頭池水門	21.6	18.6	6	0	0	0	中野・生活者ネットワーク	神田川	三鷹市	1 井の頭池水門	21.6	18.6	6	0	0	0
	神田川	三鷹市	2 井の頭池(お茶壺)	22.7	23.0	4	4	4	4		神田川	三鷹市	2 井の頭池(お茶壺)	22.7	23.0	4	4	4	4
	神田川	三鷹市	3 井の頭池(静水橋)	22.0	21.2	2	2	2	2		神田川	三鷹市	3 井の頭池(静水橋)	22.0	21.2	2	2	2	2
	神田川	三鷹市	4 井の頭池(七ツ橋)	22.2	23.1	4	4	4	4		神田川	三鷹市	4 井の頭池(七ツ橋)	22.2	23.1	4	4	4	4
	神田川	三鷹市	5 井の頭池水橋(神田川起点)	22.3	23.0	3	3	3	3		神田川	三鷹市	5 井の頭池水橋(神田川起点)	22.3	23.0	3	3	3	3
	神田川	三鷹市	6 夕やけ橋上流	22.6	22.1	3	3	3	3		神田川	三鷹市	6 夕やけ橋上流	22.6	22.1	3	3	3	3
	神田川	三鷹市	7 夕やけ橋下流(倉敷式下流口)	23.3	21.6	3	3	3	3		神田川	三鷹市	7 夕やけ橋下流(倉敷式下流口)	23.3	21.6	3	3	3	3
	神田川	三鷹市	8 丸山橋	23.4	20.3	2	2	2	2		神田川	三鷹市	8 丸山橋	23.4	20.3	2	2	2	2
	神田川	杉並区	9 神田橋	23.8	18.0	4	3	4	4		神田川	杉並区	9 神田橋	23.8	18.0	4	3	4	4
	神田川	杉並区	10 みずき橋	26.1	19.0	2	2	2	2		神田川	杉並区	10 みずき橋	26.1	19.0	2	2	2	2
	神田川	杉並区	11 下流橋	28.8	18.5	3	3	3	3		神田川	杉並区	11 下流橋	28.8	18.5	3	3	3	3
	神田川	杉並区	12 徳橋(玉田水動水入管所)	29.5	18.5	5	5	5	5		神田川	杉並区	12 徳橋(玉田水動水入管所)	29.5	18.5	5	5	5	5
	神田川	杉並区	13 高井戸橋	31.4	18.5	3	4	4	4		神田川	杉並区	13 高井戸橋	31.4	18.5	3	4	4	4
	神田川	杉並区	14 江戸川(善福寺川合流点センター前)	21.0	21.0	4	4	4	4		神田川	杉並区	14 江戸川(善福寺川合流点センター前)	21.0	21.0	4	4	4	4
	神田川	文京区	15 常盤橋	25.0	23.0	8	8	8	8		神田川	文京区	15 常盤橋	25.0	23.0	8	8	8	8
	神田川	文京区	16 水道橋	25.0	23.0	8	8	8	8		神田川	文京区	16 水道橋	25.0	23.0	8	8	8	8
	神田川	台東区	17 浅草橋(上流側)	26.0	20.0	8	8	8	8		神田川	台東区	17 浅草橋(上流側)	26.0	20.0	8	8	8	8
	神田川	台東区	18 神橋(上流側)(神田川合流点)	26.0	20.0	8	8	8	8		神田川	台東区	18 神橋(上流側)(神田川合流点)	26.0	20.0	8	8	8	8
	神田川	中野区	19 北星橋(谷中橋)	24.0	23.0	7	7	7	7		神田川	中野区	19 北星橋(谷中橋)	24.0	23.0	7	7	7	7
	神田川	中野区	20 東に徳清水水再生センター(徳清水合流点)	24.0	23.0	7	7	7	7		神田川	中野区	20 東に徳清水水再生センター(徳清水合流点)	24.0	23.0	7	7	7	7
	神田川	杉並区	21 和田橋(上流側)	29.0	18.0	4	4	4	4		神田川	杉並区	21 和田橋(上流側)	29.0	18.0	4	4	4	4
	神田川	杉並区	22 和田橋(下流側)	30.0	20.0	4	4	4	4		神田川	杉並区	22 和田橋(下流側)	30.0	20.0	4	4	4	4
	神田川	杉並区	23 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8		神田川	杉並区	23 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8
	神田川	杉並区	24 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8		神田川	杉並区	24 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8
	神田川	杉並区	25 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8		神田川	杉並区	25 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8
	神田川	杉並区	26 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8		神田川	杉並区	26 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8
	神田川	杉並区	27 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8		神田川	杉並区	27 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8
	神田川	杉並区	28 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8		神田川	杉並区	28 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8
	神田川	杉並区	29 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8		神田川	杉並区	29 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8
	神田川	杉並区	30 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8		神田川	杉並区	30 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8
	神田川	杉並区	31 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8		神田川	杉並区	31 善福寺川(上流)中野	23.0	21.0	8	8	8	8

- 都民委員（善福寺川を里川にカエル会 & 善福寺川フォーラム実行委員会 所属）より、活動報

告として、以下の内容が報告されました。

- ①かんきょう講演会
- ②善福寺川発見（イベント協賛）
- ③善福寺川発見 流域さんぽ
- ④善福寺川フォーラム 2022



- 都民委員より、武蔵野市水の学校サポーターズ・サロン活動状況について以下の内容が報告されました。

第七期神田川上流懇談会活動内容

- ①「むさしの環境フェスタ in SUMMER」に参加
- ②むさしのエコ re ソート来館者アンケート結果を活用し、関連する資料の展示等



●第三建設事務所管内で施工中の工事情報

- ・事務局より、第三建設事務所間で行われている
施工中の工事について、情報提供されました。
- ①妙正寺川整備工事（その 202-4）。丸山橋付近

の護岸整備を実施しています。

- ②善福寺川整備工事に伴う管理用通路整備工事（宮下橋から御供米橋）。管理用通路の整備工事を実施しています。
- ③善福寺川整備工事（その 205）。神通橋付近の護岸整備を実施しています。
- ④神田川整備工事（その 212）。宮前橋上流の護岸整備を実施しています。
- ⑤環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事。神田川・環状七号線地下調節池と白子川地下調節池を連結するため、環状七号線と目白通りの地下に内径 12.5m、延長約 5.4km のトンネル式の調節池を整備します。令和 4 年 6 月に約 160m の初期掘進を終了し、本掘進に向けた段取り替えを行い、令和 5 年 1 月から本掘進を進めています。
- ⑥和田堀公園調節池関連工事。取水施設、排水設備、監視制御設備、公園復旧等の工事を実施しています。
- ⑦下高井戸調節池工事。神田川では大雨・洪水に対処する治水対策を進めており、その一環として区立下高井戸おおぞら公園の地下に貯留量約 30,000m³ の下高井戸調節池を整備します。引き続き、調節池本体工事を実施しています。



令和 5 年 1 月 24 日現在の第三建設事務所管内の施工状況

第七期神田川上流懇談会活動内容

第七回神田川上流懇談会での質疑応答

都民委員の質問・意見	事務局・行政委員の回答
善福寺川の宮下橋の辺りでイベントが毎年行われていて、工事が行われる前には、子どもたちが川に入られるようになっていましたが、この工事が始まってできなくなりました。こちらに川に降りられる階段が2カ所できますが、いつから使えるようになりますか。	善福寺川の宮下橋、八幡橋、御供米橋付近において、平成24年から工事してきましたが、今年の5月頃に工事が終わる予定です。工事完了後は、開放して歩いていただけるようになります。 また、八幡橋のすぐ上流付近に川へ降りられる階段を以前と同様に設置しました。杉並区が管理者となりますので、階段の開放については、杉並区とご相談していただければと思います。
神田川は一つの景観だと思いますが、治水という観点から同じような整備形態になると思いますが、神田川の50年後、100年後考えると、同じような形態で整備していいのかと思うので、提案をしていく必要があると思います。	一例ではありますが、善福寺川の宮下橋から御供米橋間の整備については、地元の意見踏まえて、石積護岸などの湧水を遮断しないような護岸構造を採用するなど、自然の水循環（自然環境）および生態系や景観等に配慮して行っています。 ただ、行政としても洪水対策との両立を行う必要があるため、皆様からのご意見をいただきながら、改善できることはしていきたいと思います。
和田堀公園調節池ですが、この計画を作るときにずいぶん意見交換させていただいたので、出来上がるのを楽しみにしていますが、実際に大雨が降ったときなど、既に使用しているのですか。	令和3年度末から、川から水が取り込めるようになっており、洪水時に水位上昇した際は、取水（水を貯めること）ができるよう機能しています。 今後、斜面の滑りがないよう補強を行うとともに、機械設備、電気設備等を1年少しかけて実施していきます。
和田堀公園調節池に川の水が入ってきた後、出て行って、その後は消毒とかはされているのですか。	消毒が必要かどうかというのは、これから管理者になる公園や区と調整しているところです。 第三建設事務所では、排水および池の水を空にするための施設を整備しています。
善福寺川の取水施設を見学させてもらい参考になりましたので、施設の見学会をできるだけ多くして、みんなに川のことや安全についても知らせるってことも大切だと思います。	神田川・環状七号線地下調節池の施設見学は、昨年より一般の見学を再開しております。 なお、第三建設事務所のホームページに申込みフォームが記載されており、一人からでも申込みできます。ぜひ、周りの方々にも、教えていただければと思います。

— 参考資料 —

神田川上流懇談会ニュース第四十四号（第七期第一号）

神田川上流懇談会ニュース第四十五号（第七期第二号）

神田川上流懇談会ニュース第四十六号（第七期第三号）

神田川上流懇談会ニュース第四十七号（第七期第四号）

神田川上流懇談会ニュース第四十八号（第七期第五号）

神田川上流懇談会ニュース第四十九号（第七期第六号）

神田川上流懇談会ニュース第五十号（第七期第六号）

神田川上流懇談会ニュース

第四十四号（第七期第一号）

令和元年6月19日（水）の午後2時30分より、善福寺川事業センターにおいて第七期第1回の神田川上流懇談会が開催されました。

当日は、委員紹介、設置要綱の承認、座長・副座長の選出を経て、今後の行動計画や令和元年度の主な河川事業の報告、質疑応答が行われました。

懇談会終了後、第七期の委員の集合写真を撮影し、希望者による神田川・環状七号線地下調節池の見学が行われました。



第七期第1回懇談会の様子

■主な説明事項の内容は以下のとおりです。

①上流懇談会の行動計画について

第七期は令和元年度から令和3年度までの3年間で、年2回、計6回の開催を予定しています。

・第1回（令和元年6月19日）

設置要綱の承認／座長・副座長選出／上流懇談会の活動計画／令和元年度の主な河川事業／都民委員からの活動報告／神田川・環状七号線地下調節池視察（終了後）

・第2回（令和元年11月頃）

委員からの活動報告／現場見学・環状七号線地下広域調節池／その他

・第3回（令和2年6月頃）

令和2年度の主な河川事業／現場見学（善福寺川）和田堀公園調節池／その他

・第4回（令和2年11月頃）

委員からの活動報告／現場見学（神田川）下高井戸調節池／その他

・第5回（令和3年6月頃）
令和3年度の主な河川事業／委員からの活動報告／その他
・第6回（令和3年11月頃）
第七期の成果取りまとめ／その他

②河川事業の概要について

令和元年度は9箇所で行事予定しています。そのうち河川の整備工事が6件、調節池工事が3件です。

・神田川

その154工事として下流部の中野新橋～寿橋区間で、その211工事として上流部の宮前橋上下流で、都市河川タイプの護岸整備を進めます。

・善福寺川

その104とその105工事として宮下橋上流～御供



米橋上下流区間で自然環境に配慮した護岸整備を、その202と203工事として善福寺川調節池上流側の神通橋上下流で護岸整備を行う予定です。

・妙正寺川

その202工事として鷺宮調節池上流の下鷺橋～オリブ橋区間の護岸整備を進めます。また、その16工事として神田川・環状七号線地下調節池の下流側、新昭栄橋から下流への整備工事を今年度発注する予定です。

・和田堀公園調節池

既設の和田堀第二・第三調節池を統合、拡張して堀込式の調節池を整備します。

・下高井戸調節池

神田川の永福橋と神田橋の間、東電グラウンド跡地を掘り下げて地下調節池を作ります。また調節池上部は埋め戻して多目的グラウンドとして公園整備する予定です。

・環状七号線地下広域調節池

143万㎡の貯留が可能な地下広域調節池実現のため、白子川地下調節池と神田川・環状七号線地下調節池を連結する石神井区間の工事を進めています。現在、妙正寺川立坑でトンネル掘削用のシールドマシンを組み立てていて、今年度末に発進する予定です。また、神田川取水施設の建替え工事を行う予定です。

■都民委員から以下のとおり活動報告がありました。

神田川上流懇談会都民委員有志で、平成31年2月に、寿橋から大久保通りまで神田川沿いを見学し、その後の懇談会で、神田川水害の様子や平成5年までの当時の市民運動の経緯などをお聞きしたとの報告がありました。

■都民委員からの質問やご意見及び行政委員の説明などを紹介します。（順不同）

各委員の活動がネットワーク化して、連携した活動や勉強会などの機会も出てくると思うので、委員からの活動報告というのは非常にいいことだと思います。

※これまで行政側からの情報提供が中心でしたが、委員の方々が活動しているフィールドで行われていることを知ることが多いと思うので、ぜひ発表していただくと有難いと考えています。

委員同士の勉強会などで集まる場所を確保するのが難しく、事務局が支援してくれると有難いのですが。

※事務局に言っていただけでは対応は可能です。既に会場が埋まっているとか見学会などもあるので、事前に調整していただければと思います。

河川といっても、流れ込む雨水の関係から下水道事業も関連してくるので、下水道施設の見学や、下水道担当者の懇談会への出席なども考えていただきたいと思います。

※みなさんで意見交換をしながら作っていく懇談会だと思いますので、そういうご要望があったということに対して応じられるようにしていきたいと思っています。

神田川の流域面積は105km²ありますが、下水が入ってくる地域を含めるとどれくらいになるのですか。

※基本的に、降った雨が河川に集まる、そのエリアを流域と言っています。105km²のエリアで降った雨が、下水を通じて神田川、善福寺川、妙正寺川に流れてくるという理解をしていただければと思います。

和田堀公園調節池の工事の時に地面を掘ったと思うのですが、文化財が出たのかお伺いしたい。

※調節池工事の前に、杉並区教育委員会のご協力を得て、埋蔵文化財の調査を行いました。土器の破片や遺構、昔の水路とか木の板みたいなものが出てきたということを知っています。

善福寺川調節池の仲よし広場の水はけが悪く、雨が降った後はぐちゃぐちゃな状態になっています。改善策について検討されているのかお伺いしたい。

※仲よし広場の芝生の下には、排水できるよう浸透トレッチを入れていたということで、ご理解いただければと思います。水はけが悪くなっているというのは認識しています。ご意見があったことは承っております。

環状七号線地下広域調節池で取水する場所がいくつあるのですが、どこで水を川に戻すのですか。南側に勾配をつけているので、白子川の水が神田川に出るということになるのですか。

※基本的には各取水施設で、川の水が下がった時にポンプ排水を行います。しかし、勾配がついているため、最終的には白子川で取った水が神田川のほうまで来るといことになります。

5箇所の取水口から取って神田川に流すという話でしたが、それが、雨が降っていないのに神田川が濁っている理由なのではないですか。善福寺川で取っている水も現在流れているわけですね。

※状況を把握していませんが、渇水期に消防水利として貯めた水を6月上旬に排水したのですが、その際に川の中の汚れが流れ出したということはあるかもしれません。また、現状、調節池は全部繋がってはいません。繋がった時でも、基本的には各取水施設からしっかりと排水していくというのが前提になると思います。

和田堀公園調節池で、公園の中に水辺をつくるのはいい考えだと思いますが、泥水が入ってきて泥が溜まったら、どうやって浚渫するのですか。かいほりみたいになら全部水を出して、泥を取って、また水を貯めるのですか。

※川の水位が下がると池の水位も下がります。さらにポンプで水を出して空にした後、高圧水などで泥を洗い流します。公園として使うので、そういったことが必要になります。

■その他、都民委員から以下の報告がありました。
10月5日と6日に環境活動推進センターで「すぎなみエコ路地フェスタ」を開催、ストップ廃プラ 私たちにできること」をサブタイトルに、5日は映画の上映、6日は全国川こみネットワークの伊藤さんの基調講演を予定しているとの報告がありました。

東京都の河川愛護月間の期間中、7月19～21日に新宿西口で、7月28日に井の頭公園の「かわフェスタ」でパネル展示を行うという報告がありました。

■現場見学会（希望者）の内容は以下のとおりです。
模型により、神田川・環状七号線地下調節池と善福寺川取水施設について、構造や機能説明をした後、機械棟の地下43mに下り、連絡管を150m歩いて、直径125mの大トンネル・神田川・環状七号線地下調節池に到着、担当者から運用や維持管理などについて詳しい説明がありました。



第七期委員の集合写真



連絡管内を飾る地域の小学生が描いた絵



模型による取水施設と地下調節池の説明



冷気で水蒸気のもやがかかった地下調節池

編集・発行

神田川上流懇談会事務局
(東京都第三建設事務所 工事第二課内)

電話 03(3333)8171 51337

神田川上流懇談会ニュース
第四十五号（第七期第二号）

令和元年11月26日（火）の午後1時30分より第七期第2回の神田川上流懇談会が開催されました。当日は、環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）の工事現場の視察の後、野方区民活動センターに移動して懇談会を行いました。

■現場見学会の内容は以下のとおりです。

① 事業内容および工事概要説明
工事現場（妙正寺川立坑）脇の事務所内で、環状七号線



地下広域調節池（石神井川区間）工事の事業内容・工事概要についてのビデオ上映があり、第三建設事務所より現場見学の概要や注意点等の案内がありました。

② 妙正寺川立坑の現場見学

スピーカー付きヘルメットを着用して工事現場内へ移動し、地上の設備や防音壁などについて説明を受けた後、シールドマシンの上部付近まで立坑の階段を降りていきました。

立坑内で、シールドマシンの重量や組立期間、今後の工事予定等の説明があり、シールドマシンは直進だけでなくカーブを描く必要があるため真ん中が折れ曲がる構造であることや、1日約9m、月約180mの掘進が想定されているなどの話がありました。

中間立坑掘削に用いたニューマチックケーソン工法等についての説明の後、階段とエレベーターで地上部に上がり、懇談会会場である野方区民活動センターに向かいました。

■懇談会での報告、質疑応答の内容は以下のとおりです。

① 合流式下水道の改善事業について

○東京都下水道局から、合流式下水道の改善事業について、以下の内容の説明がありました。

- ・合流式下水道と分流式下水道それぞれの長所と短所について
- ・合流式下水道の放流の仕組みについて
- ・合流式下水道を採用した経緯について
- ・汚水混じりの雨水の放流・越流への対策について

① 越流前に水を貯める貯留施設の整備



↑事務所内でビデオ上映と事前案内



↑階段を降りて立坑内部へ



↑シールドマシンの上部

② 水再生センターでの高速濾過施設の導入

③ 雨水浸透施設の設置の推進

④ コミが流れ出ないよう水面制御装置を設置

・オリンピック開催までに140万立米整備することが目標

○都民委員からの質問と下水道局等の回答の主な内容は以下のとおりです。

浸透ますの設置に関しての区との連携事業というのは、具体的にどのような事業化されているのですか。

※都と区が連携して、宅地内に雨水浸透ますを設置する際に助成が出るという制度を設けている区があります。宅地外に設置する公共雨水浸透ますについては、下水道局で無償で設置する事業に取り組んでいます。

降水量は大体わかる状況ですが、下水量は量的な測定をして全体把握ができる状況になっているのですか。

※水再生センターに入ってくる水の量は計測して把握できていますが、川へ出てしまった量は、73箇所の吐口の全量を把握するのはかなり困難なため行っていません。

三鷹市は下水道を二つの種別で処理していると思いますが、処理に差が出てしまっているのではないですか。

※三鷹市の東部下水処理場は、敷地も狭く更新も難しいと聞いています。都のほうで、スケールメリットを生かして、きれいな水を排出できる処理法を導入しています。

分流式に替える予定があつて工事をしているのですか。それとも合流式のままでいいという方針ですか。

※埋設物が輻輳している道路状況や、莫大な工事費用、住民の負担など、いろいろ課題も多いため、現在は合流式下水道を改善していくという方針を採っています。

雨水浸透ますの助成制度の達成率はわかりますか。小金井市は助成を受けずにキネスブックに載るほどの設置率です。制度の細かな仕様を見直していただきたい。

※達成状況は都市整備局で把握していて、今は資料がなくてお答えできません。予算の執行状況では、設置はそれほど進んでいないというのが実情だと思います。小金井市では、行政が設置業者と連携して対策を行っている聞いています。そういう成功事例を広げていくことができれば、東京の水質も変わっていくのかなと考えています。

公共施設で、一時的に貯留して雨が止んでから流すというような設備があれば効果が大いだと思いますが、そのような計画やこれからの展望はどうなのですか。

※学校など公的な施設に対しては、国で補助金を出したり、建設局・下水道局・都市整備局等で協力して推進しようという取り組みは行っています。

雨水が増えても下水は一定量川に入っていくから、時間が経てば雨水で希釈されてきれいになっていくという表現は誤解を招くのではないかと思うのですが。

※トータルで負荷量は変わらないということは指摘のとおりで、誤解のないように表現方法を変えさせていただきます。

① 都民委員・行政委員からの報告等

○事務局から以下のとおり報告がありました。

- ・第1回懇談会で承認いただいた懇談会の設置要項に文言の修正があったので、本日最終版をお渡ししました。
- ・前回の懇談会の議事を懇談会ニュースとしてまとめています。内容を確認いただき、修正等があれば12月中旬を目途に、事務局にご連絡いただきたい。

○都民委員から以下のとおり報告がありました。

- ・2020年2月25日から28日に中野区役所の入口付近で、中野区の町名の今と昔というテーマでパネル展示を行います。中野区にもご尽力いただき、おかげさまで大変好評で資料がほしいという要望もかなりきています。お時間があれば、よろしく願います。

・事務局にお願いして、フィールドワークのチラシをみなさんに配っていただきました。江古田の森から江古田川を通じて妙正寺川第二調節池まで歩いて、グリーンイン

フラに繋がるようなものが見えて、都市河川としてのさまざまな特徴がよく表われていて、たいへん面白いフィールドワークができました。ご希望があればご案内するので、声をかけてください。

- ・毎年1回開催している神田川サミットを、11月9日に新宿区戸塚地域センターで「ユコと神田川」というテーマで開催しました。神田川ファンクラブ小学生の部として戸塚第三小学校の子供たちが参加して、戸塚地域センター下の親水テラスでやっているゴミ拾いや水質調査などで気がついたことが発表されました。杉並区井荻小学校の学校支援本部の方とも交流ができました。
- ・善福寺川を里川にカエル会というグループで、毎年カエルシンボという催しが行われています。10月26日に雨水をどう溜めたらいいかというワークショップを行いました。また年間4回、善福寺公園の遅野井川で、子供たちと「川調べ」という生き物調査、水質調査、流速調査を行っています。11月16日には牛乳パックで箱メガネを作った川の中を覗くということをやりました。

② その他

○台風19号時の流域の雨量や水位について、事務局から以下のとおり報告がありました。

- ・台風19号でかなりの大雨が降り、神田川・環状七号線地下調節池に貯留可能な54万トンのうち約9割に河川水を取り込んで、治水効果を発揮しました。
- ・新宿、中野、相生橋の雨量観測所の雨量グラフでは、ほぼ同じように8時から8時半くらいが二つ目、13時から15時半くらいが三つ目、20時から21時半くらいが三つ目のピークになっていました。1時間最大雨量もほぼ同じで37mmから38mmくらいでした。
- ・水位周知河川に指定している善福寺川の西田端橋の水位も、雨量と同様に朝・昼・夜の三つのピークがあって、夜の時間帯のピークには、氾濫危険水位まであと10cmくらいまで迫っていました。21時以降は雨が止んでそれ以上水位は上がらなかったが、雨次第ではもっと水位が上がっていた可能性もあったと考えています。

○各区・各市の行政委員から、台風19号時の防災対応や被害状況について報告がありました。主な内容は以下のとおりです。

- ・河川の氾濫等の被害はなかったが、内水による床下・床上浸水や道路冠水、家屋の一部損壊、倒木などの被害があり、また、土のうが不足してその対応に追われたという報告がありました。

○都民委員からのご質問と行政委員等の回答の主な内容は以下のとおりです。

台風の際中、善福寺池で水をポンプアップし続けていて、管理事務所には誰もいなかったそうです。ルール、マニュアルがあればいいのではないかと思います。

※都の公園部局等とも連携していきたいと思っています。

神田川・環状七号線調節池で、取水のために開けた時間と閉めた時間はわかりますか。

※12日土曜日の午後3時半頃から川の水を取り始めて、取り終えたのが夜11時頃。

今掘っている上荻の雨水一時貯留管の立坑は一部供用していると聞いていますが、この台風の雨で、関根文化公園から上流に向かって水が入ったのですか。

※上荻の公園の池は、浸水対策の池ではなく合流改善対策の池なので、ピークの水ではなく初期の雨水を取ること、現在まだ工事中の仮運用で、仮のポンプをつけている状況なので、どのくらい貯まったかはわからないですが、基本的に初期の水が貯まるので間違いなく水は取れているという認識です。



「第2回懇談会」の様子

編集・発行 神田川上流懇談会事務局
(東京都第三建設事務所 工事第一課内)
電話 03(3388)5137

神田川上流懇談会ニュース

第四十六号（第七期第三号）

第七期第三回神田川上流懇談会は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、令和二年十月二十日（火）に協議資料を委員の皆さまに送付し、書面開催としました。送付資料は、①令和二年度 主な河川工事予定箇所、②委員からの報告事項、③第三回神田川上流懇談会書面開催までにお受けした質問とその回答、④神田川上流懇談会ニュース第四十五号（七期第二号）、⑤コラム「気象用語」です。

資料についての確認・問い合わせについては、添付の質問票で事務局に送付という形式です。

■配布した協議資料の要旨は以下の通りです。

①令和二年度 主な河川工事予定箇所

令和二年度の主な河川工事予定箇所は九箇所です。

一、神田川整備工事（新橋～寿橋）。平成十九年度から護岸工事に着手し、令和二年度は本郷橋上下流の護岸工事を実施しています。

二、神田川整備工事（方南橋上流～神泉橋下流）。環七地下調節池の完成に伴い、令和二年度は、宮前橋上下流の護岸整備を実施しています。

三、善福寺川整備工事（済美橋より上流区間）。和田堀第六調節池の改良に伴い、宮下橋上流の護岸整備に着手しています。令和二年度は、宮下橋上流から大成橋下流の護岸整備を実施しています。

四、善福寺川整備工事（西田橋上流～西田端橋下流）。善福寺川調節池の完成に伴い、令和二年度は、神通橋上流の護岸整備を実施しています。

五、妙正寺川整備工事（下鷲橋～八幡橋）。鷺宮調節池の完成に伴い、下鷲橋から八幡橋までの護岸整備に着手しています。令和二年度は、丸山橋下流の護岸整備を実施しています。

六、妙正寺川整備工事（三谷橋～新昭栄橋）。令和二年度は、新昭栄橋下流の搬入路整備を実施しています。七、和田堀公園調節池事業。公園計画に合わせて、和



田堀第二・第三調節池を統合・拡張し、河道整備及び他施設と合わせて、時間七十五ミリ対応施設として治水安全度の向上を図っていきます。

八、下高井戸調節池事業。都市計画下高井戸公園内に地下調節池を整備しています。令和元年十一月に搬入路整備（仮橋設置）が完成し、引き続き、調節池本体工事を実施しています。

九、環状七号線地下広域調節池事業。白子川地下調節池と神田川・環状七号線地下調節池を連結する工事を行っています。完成後は、白子川、石神井川、妙正寺川、善福寺川、神田川の五河川の間において、洪水調節機能の相互融通が可能となり、局地的かつ短時間の集中豪雨に対しても、大きな効果を発揮することが期待されます。

②委員からの報告事項

団体委員（神田川ネットワーク）から、「神田川ネットワークでは毎年、「全国身近な水辺調査」に参加していま

す。今年も三十二か所、実施いたしましたので、情報を提供させていただきます。」と報告がありました。

③第三回神田川上流懇談会書面開催までにお受けした質問の回答

降雨時に合流式下水道を介してコロナウイルスが河川に流入する可能性はあるか。

※東京都下水道局では「下水中の新型コロナウイルスの分析に向けた対応について」にてサンプルを採取し学会と協働して調査していく取り組みを行う旨、HPに掲載しています。東京都建設局としましては、流入しているかどうかまでの確認は行っておりません。なお、以前に他県の下水中に新型コロナウイルスが検出されたことニュースで取り上げられたこと記憶しています。

河川でコロナウイルス検出調査をしているか。

※建設局では調査をしておりません。

今年度の調節池の流入実績を知りたい。

※今年度、第三建設事務所では七回水防態勢をとっています。うち一回のみ調節池にて流入しております。七月二十三日（木）妙正寺川上高田調節池（中野区上高田五丁目）一万一千トン、北江古田調節池（中野区管理）（中野区江古田三丁目）五千七百トンです。

④神田川上流懇談会ニュース第四十五号（七期第二号）神田川上流懇談会ニュース案を送付して、ご意見を伺いました。

⑤コラム「気象用語」

気象用語について、よく使われる用語をピックアップして、正確な用語の意味を情報提供しました。

■資料についての確認・問い合わせは、添付の質問票で行いましたが、特にご意見は、ありませんでした。

編集・発行 神田川上流懇談会事務局

（東京都第三建設事務所 工事第一課内）

電話 03（3387）5137

神田川上流懇談会ニュース
第四十七号（第七期第四号）

第七期第四回神田川上流懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、令和三年二月五日（金）に協議資料を委員の皆さまに送付し、書面開催としました。送付資料は、①委員からの報告事項、②第四回神田川上流懇談会書面開催までにお受けした質問の回答、③神田川今昔フォトブックに対する意見及び回答（神田川今昔フォトブック製本版を添付）です。資料についての確認・問い合わせについては、添付の質問票で事務局に送付という形式です。

■配布した協議資料の要旨は以下の通りです。

①委員からの報告事項

都民委員が所属している二つの団体の活動報告がありました。

一、遅野井川かつばの会

「遅野井川かつばの会」は、都立善福寺公園内を流れる遅野井川（正式名「遅野井川親水施設」）の生き物や水の流れを守る集まりで川の管理運営する協定を杉並区と結んでいる任意団体です。

児童参加の川調査「川しらべ」を年四回、「かつばかべしんぶん」を公園内の掲示板に隔月で掲載しています。

二、善福寺川を里川にカエル会

「善福寺川を里川にカエル会」は、善福寺川が地域から愛される、多様な生物（人間も含む）が住める川（里川）にかえるためのさまざまな取り組みをしている市民団体です。

毎月定例会議を開催しているほか、遅野井川浸水施設（都立善福寺公園）で行われたイベント「水辺で乾杯ニッパ（ミズベリング）」の運営や、善福寺川緑地公園で行われたパネル展示や善福寺川流域さんぽ（お散歩の会とコラボ）への参加、オンラインで行われた「グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会」への参加など幅広く活動しています。

② 第四回神田川上流懇談会書面開催までにお受けした質問の回答

二〇二〇年十月に調布市で発生した市道陥没と東京外環道の大深度トンネル工事との因果関係を東日本高速道路が認めました。大深度利用は外環道に限らず、東京都でも様々な事業が行われており、東京都として大深度利用現場の上部地層、地上部での安全性をどのように確認していく予定ですか。

※大深度で行う工事としては、環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事があげられます。地上への安全性の確認としては、一定の間隔で道路高さを計測し、沈下等の確認を行う予定です。また、工事の影響を受ける可能性のある範囲の家屋を対象に、事前に工事の説明会を開催することにも、希望者に家屋調査を行います。

③ 神田川上流懇談会ニュース第四十六号（七期第三号）
神田川上流懇談会ニュース案を送付して、ご意見を伺いました。

④ 神田川今昔フォトブックに対する意見及び回答

第四回神田川上流懇談会書面開催までにお受けした「神田川今昔フォトブック見本」に対して、ご意見を伺いました。主なご意見を紹介します。

掲載する写真については、「水門橋」「佃橋」「池袋橋」「寿橋」「栄橋」「新橋」「花見橋」「淀橋」「神高橋」「小滝橋」「面影橋」「お茶の水橋」の十二橋ではどうか。

※写真が荒いこと、川の様子がわからないもの等利用が難しい写真以外で、採用可能なものを選出しています。

写真撮影のポイントを起点から〇〇km地点と表記したらどうか。

※起点から延長を落とした正確な資料が現状ないため、今回の冊子では対応しませんでした。今後委員の意向を確認しながら必要に応じて対応していきます。

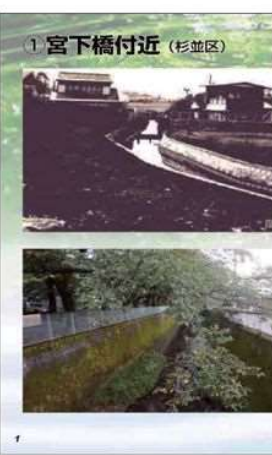
神田川の概要をもう少し書き加えたらどうか。

※神田川流域図のページに書き加えます。

タイトルを『神田川の橋 今と昔』とし、表紙の写真は「大正時代の水門橋」と「聖橋」の二点を採用したらどうか。

※タイトルについては、神田川を対象としたフォトブックであるため、橋に限定される表現は適切でないと考えています。

また、表紙写真については解像度の高いものがあれば対応可能です。ただし、表紙に使用するものであるため出典元の記載が不要な写真が望ましいと考えています。



■資料についての確認・問い合わせは、添付の質問票で行いましたが、特にご意見はありませんでした。

編集発行 神田川上流懇談会事務局

（東京都第三建設事務所 工事第三課内）

電話 03(3)30607(5)137

神田川上流懇談会ニュース
第四十八号（第七期第五号）

第七期第五回神田川上流懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、令和三年九月二十七日（月）に協議資料を委員の皆さまに送付し、書面開催としました。

送付資料は、①第七期神田川上流懇談会設置要綱（改正案）、②令和3年度 主な河川工事予定箇所、③令和3年8月15日豪雨における河川状況、④委員からの報告事項、⑤第七期神田川上流懇談会活動報告記録（第1回から第4回）、⑥第七期神田川上流懇談会設置要綱（改正案）に対する回答票です。

資料についての確認・問い合わせについては、添付の質問票で事務局に送付という形式です。

■配布した協議資料の要旨は以下の通りです。

①第七期神田川上流懇談会設置要綱（改正案）

任期の延長について、委員の過半数の同意をいただき、第七期における委員の任期を三年から四年に一年間延長いたしました。任期延長に伴い、設置要綱の第3（構成）の3を改訂いたします。

②令和3年度 主な河川工事予定箇所

令和3年度の主な河川工事予定箇所は九箇所です。
一、神田川整備工事（新橋・寿橋）。平成十九年度から護岸工事に着手し、令和三年度は本郷橋上流の護岸工事を実施しています。

二、神田川整備工事（万南橋上流・神泉橋下流）。令和三年度は、引き続き宮前橋の架替を含む宮前橋上下流の護岸工事を実施しており、今後、栄泉橋上流までの管理用通路整備に着手する予定です。

三、善福寺川整備工事（済美橋より上流区間）。令和三年度は、宮下橋上流から大成橋下流の護岸整備を実施しています。

四、善福寺川整備工事（西田橋上流・西田端橋下流）。令和三年度は、神通橋上下流の護岸整備を実施しています。

五、妙正寺川整備工事（下鷲橋・八幡橋）。令和三年度は、丸山橋の架替を含む丸山橋上流の護岸整備を実施しています。また、八幡橋下流の護岸工事にも着手する予定です。



六、妙正寺川整備工事（三谷橋・新昭栄橋）。令和三年度は、新昭栄橋下流の搬入路整備を実施しています。

七、和田堀公園調節池事業。公園計画に合わせて、和田堀第二・第三調節池を統合・拡張していきます。令和三年八月末現在、調節池工事、護岸工事を施工しており、橋梁工事は完了いたしました。

八、下高井戸調節池事業。都市計画下高井戸公園内に地下調節池を整備しています。令和三年度は、引き続き調節池本体工事を実施しています。本体工事完了後は、付随する機械設備等の工事を行い、令和六年度末に取水開始を予定しています。

九、環状七号線地下広域調節池事業。白子川地下調節池と神田川・環状七号線地下調節池を連結する工事を行っています。令和三年度は、トンネル内の維持管理（清

掃作業など）を効率的に行うため、換気設備を設置する必要があります。梅里換気塔および神田取水施設の換気設備工事に着手していきます。

③令和3年8月15日豪雨における河川状況

第三建設事務所管内では、総雨量で二七〇ミリメートルを超える降雨を記録しましたが、その降雨は神田川及び善福寺川流域が中心でした。

その結果、善福寺川の西田端橋水位観測所においては、15日の午前五時五十五分頃に、護岸天端まで四十八センチメートルというところまで河川水位が上昇しました。しかし、降雨が弱まったこともあり、その後河川水位は低下しました。

また今回の降雨では、神田川・環状七号線地下調節池と上高田調節池で洪水の取水を行いました。

令和3年8月15日 善福寺川取水施設での取水状況



④委員からの報告事項

都民委員が所属している団体（神田川ネットワーク）の活動報告がありました。

再編に向けて、学識経験者、事業者、市民が連携して活

三、「水都東京・未来会議」に参加し、首都東京の水辺

2021年(令和3年)度・第18回 身近な水環境の全国一斉調査

(No.1～8/7, NO.9～31・6/6陸水、NO.32・6/13陸水) ②神田川ネットワーク・2021・made

団体名	調査河川名称	市区町村名	地点 NO.	地点名	気温(℃)	現地水温 (℃)	COO(1)	COO(2)	COO(3)
神田川ネットワーク	神田川	三鷹市	1	井の頭池水源	20.1	18.6	0	0	0
			2	井の頭池(お茶湯)	20.3	21.8	1	1	1
			3	井の頭池(井天橋)	20.2	21.3	1	1	1
			4	井の頭池(七井橋)	20.7	21.7	2	2	2
			5	井の頭池東端(神田川駅直下)	20.7	22.9	2	2	2
			6	夕やけ橋上流	21.2	22.1	2	2	2
			7	夕やけ橋下流(合流式下水口下)	22.1	21.5	3	3	3
			8	丸山橋	22.2	20	3	3	3
		杉並区	9	神田橋	24.4	20	3	4	3
			10	みずぎ橋	24.3	20	2	2	4
			11	宮下橋	25.3	20.5	2	2	2
			12	佃橋(玉川上水取水流入箇所)	25.4	19	4	4	3
		文京区	13	高井戸橋	24.1	19.5	2	3	3
			14	せせらぎ橋(混合水再生センター前)	23	22	3	3	3
			15	大塚橋(江戸川公園内)	23	24	6	6	6
			16	康楽橋	24	23	8以上	8以上	8以上
			17	水道橋	25	23	7	7	7
		台東区	18	浅草橋(上流側)	24	21	8以上	8以上	8以上
			19	堀橋(隅田川合流部)	25	22	8以上	8以上	8以上
		中野区	20	北原橋(桜が池通り)	23	23	7	7	7
			21	辰巳橋(混合水再生センター処理水合流地点)	23	24	7	7	7
		新宿区	22	和田堀(最上流流れ込み付近)	20	20	6	5	6
			23	善福寺池(上流)中部	22.1	23	8以上	8以上	8以上
		善福寺川	24	善福寺池 蓮野井川親水テラス前	21.9	16	0	0	0
			25	善福寺池 下池 下流水門	21.8	21	4	4	4
			26	善福寺川 渡邊分橋付近 湧水出口	24	19.5	8以上	8以上	8以上
			27	善福寺川 渡邊分橋直下	24	20	2	2	2
			28	大宮の杜緑地の池	22	22	8以上	8以上	8以上
			29	人道橋	18.5	19	8以上	8以上	8以上
			30	千歳橋	17	15	8以上	8以上	8以上
			31	江戸田公園橋	27	25	8以上	8以上	8以上
中野ネットワーク	妙正寺川	中野区	32	水庫上橋(混合公園)	30	24	8以上	8以上	8以上

一、二〇〇八年に出版した「神田川再発見」の再編作業に取り組んでいます。神田川をはじめ、善福寺川、妙正寺川、江戸田川、日本橋川・亀島川、暗渠になった井草川、桃園川等も再調査していきます。

二、第18回身近な水環境の全国一斉調査に参加し、三十二地点の検査を行いました。

動を行っています。九月五日、ミ二天馬船プロジェクト2021が実施した、聖橋から万世橋までをミ二天馬船を走らせて競争する「ミ二天馬船タイムトライアル」に参加しました。

四、井の頭自然再生協議会に参加しました。

五、流域で活動している河川の市民団体と情報を共有しながら活動しました。

■第七期神田川上流懇談会（第五回）質問票でお受けした質問の回答

資料「令和3年8月の大雨時における雨量や水位等に関して」

当時河川の増水状況をサイレンで知らせていました。ネットでライブカメラを見て大変参考になりましたが区管轄のカメラは写真で臨場感が全く感じられませんでした。

都の補助でリアルタイムのムービーにして頂けるとうれしいですね。

リアルタイム情報だと状況判断が正確で避難などの対応がスムーズに行えるのでは無いかと思われま

※引き続き都と区とが連携して、都民にわかりやすい情報の提供に努めていきます。

なお、東京都水防災総合情報システム(エフ)では、第三建設事務所管内の6箇所(南小滝橋・和田見橋・番屋橋・西田端橋・千歳橋・鷺盛橋)のライブカメラ映像の公開をしておりますが、今後更にカメラの設置、公開していくことを検討しています。

神田川・環状七号線地下調節池では八月十五日約二十万トンの取水を行い、その量は調節池容量の約三十八%ということでしたが、こうした状況は数値とおりまだかなり余裕があったと考えてよろしいでしょうか。

※神田川・環状七号線地下調節池の容量は五十四万トンですので、数字だけを見た場合は、「質問のとおりまだかなり余裕があった」という事になります。

しかし、雨の降り方は、そのエリアや強度、時間など様々であり、調節池の容量に余裕があったからといって、一概に安全だとは言えない事をご理解していただければと思います。

(懇談会の開催)第5・2の適用で近々の懇談会開催を希望いたします。

※貴重なご意見誠にありがとうございます。

今年度二回目の神田川上流懇談会を早く開催できるように準備をいたしますので、よろしく願います。

編集発行

神田川上流懇談会事務局
(東京都第三建設事務所 工事第三課内)
電話 03(3333)5137

神田川上流懇談会ニュース
第四十九号（第七期第六号）

第七期神田川上流懇談会（第6回）は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、令和四年二月二十八日（月）に協議資料を委員の皆さまに送付し、書面開催としました。

送付資料は、①令和3年度河川工事の現場状況について、②委員からの報告事項、③神田川上流懇談会ニュース第48号（七期第5号）、④Web会議の利用状況アンケート調査（都民委員のみ配布）です。

資料についての確認・問い合わせについては、添付の質問票で事務局に送付という形式です。

■配布した協議資料の要旨は以下の通りです。

①令和3年度河川工事の現場状況について

一、神田川整備工事（その156）その2。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えていきます。

二、神田川整備工事（その211）。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えていきます。

三、善福寺川整備工事（その104-13）。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えていきます。

四、善福寺川整備工事（その106）。令和3年度に行っている工事現場の臨場感を伝えるためにWebサイトで360度写真を公開しています。

五、善福寺川整備工事（その205）。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えていきます。

六、妙正寺川6 整備工事（その16）。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えていきます。

七、妙正寺川整備工事（その202-13）その2。令和3年度に行っている工事の様子を平面図と写真で伝えていきます。

八、下高井戸調節池工事。令和3年度に行っている工事現場の臨場感を伝えるためWebサイトで360度写真を公開しています。

九、和田堀公園調節池工事その2。令和3年度に行っ

ている工事の様子を写真で伝えていきます。

十、環状七号線地下広域調節池工事。令和3年度に行っている工事の様子を写真で伝えていきます。



②委員からの報告事項

■行政委員からの報告

行政委員（建設局河川部計画課）から「神田川流域河川整備計画」の変更についての報告がありました。

○概要

都では、平成二十二年十一月に、「神田川流域河川整備計画」を策定しました。平成二十八年三月に変更しましたが、今回、新規調節池の検討状況等を踏まえて、再度変更を行っていく予定です。

○今後の予定

変更に当たっては、河川法に基づく流域住民への意見聴取（パブリックコメント）を実施し、専門家委員会の開催、流域区市などへの意見照会を経て、策定・公表します。なお、神田川上流懇談会委員（都民委員）の皆様には、パブリックコメント前に「神田川流域河川整備計画」の変更に関する内容を提示させていただき、御意見をいただきたいと思います。

■都民委員からの報告

都民委員が所属している団体（善福寺川を里川に力エル会）の活動報告がありました。

一、善福寺川八幡西橋付近で水質、生物などの調査を2021年1月から2022年1月までに10回行いました。



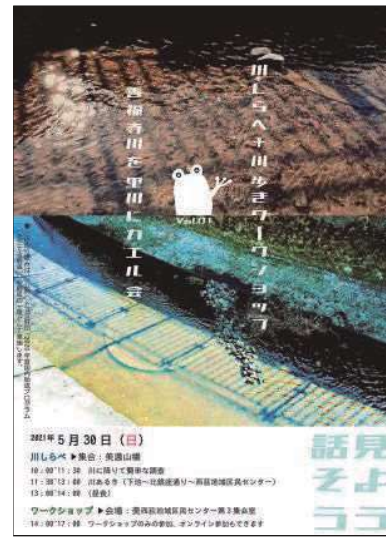
二、2020年12月26、27日に中部流域連携ネットワーク（主催）のオンライン特別企画ゆく川・くる川談義「オンラインイベント」に参加しました。

三、2021年1月10日と2022年1月21日の「川ガキ復活講座」でNPO法人すぎなみ環境ネットワーク（主催）に参加しました。

四、2021年3月5、7日の「まちらく2021」杉並区立産業商工会議主催にチラシ参加しました。



六、2021年6月27日に「川歩き十川あるきワークショップ」を善福寺川緑地公園で開催しました。



五、2021年5月30日に「川歩き十川あるきワークショップ」を西荻地区民センターで開催しました。



八、2021年10月31日、和田堀公園で開催された「善福寺川しらべ」イベント「善福寺川発見」にパネル展示の参加をしました。



七、2021 かんきょう講演会「守ろう、育てよう、善福寺川の自然」第1回9月11日、第2回10月16日に企画協力しました。



九、2021年12月18日、「善福寺川を里川にカエル会」発足10周年記念シンポジウムをオンラインで開催しました。

■第七期神田川上流懇談会（第6回）質問票でお受けした質問の回答
特にありませんでした。

編集・発行 神田川上流懇談会事務局
（東京都第三建設事務所 工事第二課内）
電話 03（3338）75137

神田川上流懇談会ニュース 第五十号（第七期第七号）

第7回神田川上流懇談会（第七期）は、令和五年一月二十四日（火）に、「Zoom Meeting」を用いたWEBおよび対面会議（対面会議場所：第三建設事務所1階第三会議室）で、開催しました。

配付資料は、①第七期活動報告記録（案）、②第八期設置スケジュール・委員継続登録確認書、③委員からの報告事項、④第三建設事務所管内で施工中の工事情報、⑤2023カレンダール川のフォトコンテスト2022優秀作品集です。

■配布した協議資料の要旨は以下の通りです。

①第七期神田川上流懇談会活動報告（案）

記載内容は、神田川上流懇談会の概要、神田川上流懇談会規約、第七期神田川上流懇談会委員名簿、第七期神田川上流懇談会活動の経緯、第七期神田川上流懇談会活動内容（第1回～第6回）となっています。

②第八期設置スケジュール・委員継続登録確認書

新規委員募集として、流域七市区（文京区、新宿区、豊島区、中野区、杉並区、三鷹市、武蔵野市）の各区市報に募集記事を掲載しました。応募締切を2月10日として、選考手続きを経て2月下旬（予定）に応募者へ通知します。また現委員については、引き続き委員に就任いただくことを考えており、「第八期委員継続登録確認書」を配布しました。新規委員及び継続委員共に三月初旬（予定）に委嘱状を送付して、第八期第1回神田川上流懇談会を3月下旬に開催する予定です。

③委員からの報告事項

◎団体委員（神田川ネットワーク）より、活動報告として、以下の内容が報告されました。（事務局が代読）
・亀島川まつり主催者「水都東京・未来会議」の一員として参加
・「雨水をためる」勉強会を主催した講師・神谷 博氏

・隅田川クリンソン大作戦に参加協力
・東京都水防資料館にて講師を担当
・すぎなみエコ路地フェスタで展示を行う 実行委員会に参加
・「善福寺川フォーラム」都立善福寺公園下池で展示 実行委員会に参加

◎都民委員（善福寺川を里川に力エル会&善福寺川フォーラム実行委員会 所属）より、活動報告として、以下の内容が報告されました。

・善福寺川を里川に力エル会 2022年活動報告
・善福寺川フォーラム実行委員会 2022年活動報告
・かんきよう講演会
・善福寺川発見（イベント協賛）
・善福寺川発見 流域さんぽ

◎都民委員より、神田川の水質調査について神田川ネットワークを通して報告されました。（事務局が代読）

2022年(令和4年)度・第19回 身近な水環境の全国一斉調査
(No.1-31・44.5555水11年度、大規模はデータ無し) © 神田川ネットワーク・2022・made

団体名	調査河川名称	調査実施日	調査地点No.	地点名	水温(℃)	溶存酸素(%)	DOX01	DOX02	DOX03
神田川ネットワーク	神田川	三鷹市	1	神田川(三鷹市)	21.6	14.8	48	48	48
			2	神田川(三鷹市)	22.7	20.0	4	4	4
			3	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			4	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			5	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			6	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			7	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			8	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			9	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			10	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			11	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			12	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			13	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			14	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			15	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			16	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			17	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			18	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			19	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			20	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			21	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			22	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			23	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			24	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			25	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			26	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			27	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			28	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			29	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			30	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4
			31	神田川(三鷹市)	22.2	21.1	4	4	4

◎都民委員より、武蔵野市水の学校サポーターズ・サロンの活動状況について報告されました。
・「むさしの環境フェスタ in SUMMER」に参加
・むさしのエコリゾート来館者アンケート結果を活用し、関連する資料の展示等

④第三建設事務所管内で施工中の工事情報

令和五年一月二十四日現在の第三建設事務所工事第二課施工箇所は、本川工事が4件、調節池が3箇所12件となっています。



- 一、妙正寺川整備工事（その2022-4）。丸山橋付近の護岸整備を実施しています。
- 二、善福寺川整備工事に伴う管理用通路整備工事（宮下橋から御供米橋）。管理用通路の整備工事を実施しています。
- 三、善福寺川整備工事（その2005）。神通橋付近の護岸整備を実施しています。
- 四、神田川整備工事（その212）。宮前橋上流の護岸整備を実施しています。
- 五、環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事。神田川・環状七号線地下調節池と白子川地下調節池を連結するため、環状七号線と目白通りの地下に内径12.5m、延長約5.4kmのトンネル式の調節池を整備します。令和4年6月に約160mの初期掘進を

終了し、本掘進に向けた段取り替えを行い、令和5年1月から本掘進を進めています。

- 六、和田堀公園調節池関連工事。取水施設、排水設備、監視制御設備、公園復旧等の工事を実施しています。
- 七、下高井戸調節池工事。神田川では大雨・洪水に対処する治水対策を進めており、その一環として区立下高井戸おおぞら公園の地下に貯留量約30,000m³の下高井戸調節池を整備します。引き続き、調節池本体工事を実施しています。

■第七期神田川上流懇談会（第7回）質疑応答

善福寺川の宮下橋の辺りでイベントが毎年行われていて、工事が行われる前には、子どもたちが川に入られるようになっていましたが、この工事が始まってできなくなりました。川に降りられる階段が2カ所ですが、いつから使えるようになりますか。

※善福寺川の宮下橋、八幡橋、御供米橋付近において、平成24年から工事してきましたが、今年の5月頃に工事が終わる予定です。工事完了後は、開放して歩いていただけるようになります。また、八幡橋のすぐ上流付近に川へ降りられる階段を以前と同様に設置しました。杉並区が管理者となりますので、階段の開放については、杉並区とご相談していただければと思います。

神田川は一つの景観だと思いますが、治水という観点から同じような整備形態になると思う。ところが、神田川の五十年後、百年後を考えると、同じような形態で整備していいのかと思うので、提案をしていく必要があると思います。

※一例ではありますが、善福寺川の宮下橋から御供米橋間の整備については、地元の意見踏まえて、石積護岸などの湧水を遮断しないような護岸構造を採用するなど、自然の水循環（自然環境）および生態系や景観等に配慮して行っています。ただ、行政としても洪水対策との両立を行う必要

があるため、皆様からのご意見をいただきながら、改善できることはしていきたいと思っています。

和田堀公園調節池ですが、この計画を作るときにすいぶん意見交換させていただいたので、出来上がるのを楽しみにしていますが、実際に大雨が降ったときなど、既に使用しているのですか。

※令和3年度末から、川から水が取り込めるようになっており、洪水時に水位上昇した際は、取水（水を貯めること）ができるよう機能しています。今後、斜面の滑りがないよう補強を行うとともに、機械設備、電気設備等を1年少しかけて実施していきます。

和田堀公園調節池に川の水が入ってきた後、出ていって、その後は消毒とかはされるのですか。

※消毒が必要かどうかというのは、これから管理者になる公園や区と調整しているところです。第三建設事務所では、排水および池の水を空にするための施設を整備しています。

善福寺川取水施設を見学させてもらい参考になりましたので、あのような施設の見学会をできるだけ多くして、みんなに川のことや安全についても知らせることも大切だと思います。

※神田川・環状七号線地下調節池の施設見学は、昨年より一般の見学を再開しております。なお、第三建設事務所のホームページに申込みフォームが記載されており、一人からでも申込みできます。ぜひ、周りの方々にも、教えていただければと思います。

編集・発行 神田川上流懇談会事務局
（東京都第三建設事務所 工事第二課内）
電話 03（33387）5137

第七期神田川上流懇談会 活動報告

編集・発行 神田川上流懇談会事務局
東京都第三建設事務所 工事第二課
〒164-0001 東京都中野区中野四丁目8番1号（中野区役所内）
電話 03（3387）5137